

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11)特許出願公表番号 特表2002-505296 (P2002-505296A)

(43)公表日 平成14年2月19日(2002.2.19)

(51)IntCl.' 離別配号		ΡΙ		デーマコート* (多考)		
A61K 45/06		A61K 45/06		4C084		
31/16		3	1/16		4C086	
31/165		3	1/165		4 C 0 8 8	
31/19		31/19 4 C 2 O 6				
31/192		3	31/192			
	客查請求	未酵求 予備報	查 館求 有	(全38頁)	最終質に続く	
(21)出願番号	特顧2000-534224(P2000-534224)	(71)出職人	エヌピーエス	ファーマシ:	ューティカルズ	
(86) (22)出顧日	平成11年3月4日(1999.3.4)		インコーポレーテッド			
(85)翻訳文提出日	平成12年9月4日(2000.9.4)		アメリカ合衆国ユタ州 84108 ソールト			
(86)国際出願番号	PCT/US99/04786		レイク シティ スイート 240 チベ			
(87)国際公開番号	WO99/44623		タ ウエイ 420			
(87)国際公開日	平成11年9月10日(1999, 9.10)	(72)発明者	アートマン	リンダ ディー	~.	
(31)優先權主張番号	60/076, 737		アメリカ合衆国 ユタ州 ソルト レイク			
(32)優先日	平成10年3月4日(1998.3.4)	İ	シティー イースト スカイライン ド			
(33)優先権主張国	米国 (US)		ライブ 2510 (72)発明者 パランドリン マニュエル エフ. アメリカ合衆国 ユタ州 サンディ サウ			
		(72)発明者				
		Ĭ				
			ス ウインタ	ーレンド	ライブ 9184	
		(74)代理人	弁理士 清水	初志(外)	1名)	
					最終質に続く	

(54) 【発明の名称】 NSAIDとともにカノコソウ抽出物、イソ吉草酸またはその誘導体を含む組成物

(57)【要約】

イソ吉草酸アミド、イソ吉草酸、並びにその薬学的に許容される塩、エステル、及び閣換されたアミド、さらに他のカノコソウ関連化合物と同様に、カノコソウの関製物と抽出物は、NSAIDと組み合わせると、特定の筋肉またはCNSの外の、即ち末梢性の筋肉群に局在した外的な傷害原因から引き起こされる急性の筋肉痛、緊張、及び捻挫の治療に結果的に影響を与える臨床的に有意な薬学的特徴を示す。問題にしている組成物は一般に非細胞毒性であり、そのような病状を症候的に治療するのに有効な用量では欠点や鎮静作用を引き出さない。